

支店長席



受注拡大で収益力を強める

4月1日付で就任。北信越支店の勤務は初となる。管轄エリアは新潟、富山、石川、長野の4県と広域にわたり、「官民間わず受注を拡大して収益力の強い支店にした

日本道路北信越支店長

堀 吉伸氏



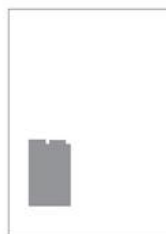
いと抱負を語る。その実現に向けて「より安全で高品質のものを提供することが一番。工事、営業、製品販売の各部門が連携して良いものをつくっていく」と意気込む。

市場環境は「コロナ禍で厳しさが増している」と認識するが、「支店には地元出身の社員も多い。地域に根差して地道に営業し、受注拡大を目指したい」と考えだ。

受注の官民比率は4対6。公共は国土交通省やNEXCOの案件に力を入れる。民間は豊富な独自の工法を武器に、物流や自動車関連工場などの地元企業を始め、地元ゼネコン、学校も含めたスポーツ関連施設などからの受注を狙う。

「風通しが良く、意見を出し合える環境をつくりたい」と働きやすい環境整備にも意欲を示す。働き方改革に向けては社員の意識改革を最重視し、ウェブ会議システムを利用した教育にも取り組んでいる。両輪となる生産性向上ではICT活用をさらに推進する。近年では民間工事での活用も進んでおり、この流れを加速させる方針だ。

1980年3月岐阜工業高土木科卒後、同年4月日本道路入社。入社から約30年にわたり中部支店に勤務した。土木の醍醐味に「完成した時の達成感や、地域住民に喜んでもらえること」を挙げ、若手社員にも「その醍醐味を味わい、仕事の楽しさを感じてほしい」と呼び掛ける。趣味は山歩き。岐阜県出身、59歳。



建設通信新聞

2021年05月10日 008面 01版 No. 20